



あおき

令和6年2月2日（金）

校長 國友 謙

【自然災害の怖さ】

能登半島地震から1ヶ月が立ちました。この冬は暖冬のように、能登地方の気温は低く、被災地の皆さんは寒く、不自由な日々を送っている方もたくさんいるようで、心が痛みます。

この通信では、地震避難訓練の様子と大谷翔平選手から寄贈されたグローブを披露した様子を報告します。

【地震避難訓練】

1月17日に、地震避難訓練を行いました。この1月17日は、29年前に阪神・淡路大震災が起きた日で、久留米市の小・中学校ではこの日やこの日の前後に地震避難訓練を行うようになっています。

まず、9時40分に全校放送で緊急地震速報の警報音を鳴らし、教頭が地震発生の放送を行いました。子どもたちは、机の下に隠れて次の放送を待ちました。次に、教頭が避難の指示をしました。子どもたちは、その指示を受けて、2列に並び、運動場に避難しました。



運動場に避難する子どもたち

子どもたちは、おしゃべりも少なく、素早く避難することができました。

その後、子どもたちは校長から阪神・淡路大震災と能登半島地震の話聞き、能登半島地震で亡くなられた方の冥福を願って黙祷をしました。

校長の話の中で、特に分かってほしいと思ったのは、同じ自然災害でも台風と違うのは、突然起きるということでした。

学校にいる時に地震が起きた場合は、この日に学習したことを生かして素早く安全に避難してほしいと思います。ご家庭でも是非、避難の仕方等の話をお願いします。

【大谷選手寄贈グローブの披露】

みなさんをご存知かと思いますが、現在大リーグのドジャースでプレーする大谷翔平選手から日本の小学校に3個ずつ、合計約6万個のグローブが贈られました。本校にも1月19日に届きました。右利き用のグローブが2つ、左利き用のグローブが1つです。



大谷選手寄贈のグローブ

1月25日の「給食に感謝する会」の前に子どもたちにグローブを披露しました。

校長が大谷翔平選手の写真を見せ、大谷選手からのプレゼントが届いたことを知らせると、グローブが来ることを知っている子どもも多く、子どもたちは興味津々でした。その箱を6年生の代表の子が箱を開けて、



キャッチボールをする6年生

て、全児童にどんなグローブか披露しました。写真にもありますようにとてもおしゃれなグローブでした。全校児童にグローブを見せた後に、6年生の子どもたちにキャッチボールをしてもらいました。

グローブは、体育などの学習で使いたいと思います。